

# 第40回吉岡彌生記念講演会

## (第370回東京女子医科大学学会例会)

### (第1部) 令和6年度研究奨励賞授与式 ※関係者のみにて執り行います。

日時 2024年5月22日(水) 午前10時~10時10分

会場 彌生記念教育棟1階 彌生先生座像前

吉岡彌生研究奨励賞

飯嶋 睦(脳神経内科学分野 教授、昭和62年卒)

パーキンソン病のQOLと患者背景との関連

吉岡博人記念総合医学研究奨励賞

研究代表: 本田浩章(実験動物研究所 教授)

共同研究者: 大和雅之(先端生命医科学研究所 教授)・石垣景子(小児科 准教授)

他家間葉系幹細胞移植によるラットFCMDモデルの開発

### (第2部) 令和5年度研究奨励賞受賞者研究発表

配信日時 2024年5月22日(水) 午前9時~29日(水) 午前9時

配信方法 オンデマンド配信

吉岡彌生研究奨励賞受賞者

小林浩子(糖尿病・代謝内科学分野 講師、平成5年卒)

成人1型糖尿病のスティグマと臨牀的・社会的影響に関する実態調査(多施設研究)

### (第3部) 第40回吉岡彌生記念講演

配信日時 2024年5月22日(水) 午前9時~29日(水) 午前9時

配信方法 オンデマンド配信

丸 義朗(東京女子医科大学学会 会長)

開始のご挨拶

岩本絹子(学校法人東京女子医科大学 理事長、昭和48年卒)

ご挨拶

杉崎那美子先生(医療法人社団桐光会理事、昭和38年卒)

吉岡彌生先生の精神から学ぶ

小森万希子先生(東京女子医科大学附属足立医療センター特任教授、昭和58年卒)

時代を拓いた人—女性の視点・麻酔科医の視点から—

### (第2部) 令和5年度吉岡彌生研究奨励賞受賞者研究発表

成人1型糖尿病のスティグマと臨牀的・社会的影響に関する実態調査(多施設研究)

(糖尿病・代謝内科学分野) 小林浩子

糖尿病スティグマとは社会にある糖尿病に対する偏見や差別により、糖尿病を持つ人が社会的・経済的に不利益を感じたり経験することで、一部の人々においてはスティグマが内在化し、メンタルヘルスに悪影響を及ぼすことがある。我々は1型糖尿病によるスティグマを測定する尺度、Type 1 Diabetes Stigma Assessment Scale(DSAS-1)の日本語版を作成し、1型糖尿病のスティグマの実態、臨牀背景、さらに well-being との関連を明らかにすることを目的とした。

3施設通院中の成人1型糖尿病患者を対象に診療録より年齢、罹病期間、HbA1c、質問票では重症低血

糖の有無、尺度はDSAS-1、Rosenberg自尊感情尺度、UCLA孤独感尺度短縮版、Problem Areas in Diabetes(PAID-5)、主観的幸福尺度を調査した。

成人1型糖尿病患者263名から回答を得た。スティグマは女性( $p < 0.01$ )で有意に高く、年齢、罹病期間、HbA1c、重症低血糖の有無とは関連しなかった。孤独感( $r = 0.31, p < 0.0001$ )、自尊感情( $r = 0.36, p < 0.0001$ )、糖尿病の負担感( $r = 0.63, p < 0.0001$ )とは正相関を示した。重回帰分析では well-being の指標である幸福度は自尊感情( $\beta = 0.48, p < 0.0001$ )、孤独感( $\beta = -0.29, p < 0.0001$ )と関連した。1型糖尿病を持つ人の well-being 向上のためにはスティグマと孤独感を軽減し、自尊感情を高めることが重要である。